

通信教育講座

—美しい字が書けるようになる—
ビジネスペン字

JTEX

職業訓練
法人

日本技能教育開発センター

1か月学習(T-1)

か	は	
ひらがなの字源	2
ひらがな	3
ひらがなの練習	5
ひらがなの練習・二字	10
ひらがなの練習・三字	14
ひらがなの練習・四字	18
カタカナの字源	22
カタカナ	23
カタカナの練習	24
カタカナの練習・二字	29
カタカナの練習・三字	33
カタカナの練習・四字	35
ひらがなの連珠	37
ひらがなの連珠・練習	38
横書き	41
ひらがなの練習・二字横書き	43
ひらがなの練習・三字横書き	47
ひらがなの練習・四字横書き	51
カタカナの練習・二字横書き	55
カタカナの練習・三字横書き	57
カタカナの練習・四字横書き	59

2か月学習(T-2)

楷書	61
横画	65
基本点画の練習・横画	66
点	68
基本点画の練習・点	69
縦画	71
基本点画の練習・縦画	72
はらい	74
基本点画の練習・はらい	75
はね	78
基本点画の練習・はね	79
そり	80
基本点画の練習・そり	81
折れ	82
基本点画の練習・折れ	83
まがり	84
基本点画の練習・まがり	85
基本点画の練習・熟語	86
部首	89
漢字の形	99
熟語	112
横書き	119

楷書と行書

楷書と行書	136
名書・句	137
行書	149
行書の筆状	152
行書の練習	155
部首	172
熟語	198

日 常 文

日常文	208
熟語	209
行書がなまじり文	221
手紙の書きかた	220
行書がなまじり文の練習	225
手紙文例	234
宛名言文	240
ハガキ文例	248
時張あいざつ例	259

ペン字検定

付 録

付録―庶務の上書き

庶務の上書き	272
庶務の上書き	275
数字	280
漢数字	282
硬筆書字技能検定について	286
フェルトペンについて	288
指示物の書きかた	289
指示物用材料	290
筆順	291

ひらがな

ひらがなは、漢字の草書体から作り出されたものです。私たちが日常いちばん使う文字はひらがなでしよう。文書を書いているときに、ひらがなは、かなり多い比率で使用されているはずですが、ですから、読みやすい、美しい字を書こうと思うとき、このひらがなの書きかたをマスターしただけでも、その目的のかなりの部分は達成できると思います。

ひらがな一字一字のことを「単体」といいますが、ひらがなの練習は、この単体を書くことから始めます。正しく、美しく書くためには、十分練習することが必要ですが、要点をしっかりつかんで練習すると効果もそれだけあがります。初めのうちは少なくとも次の三つのことを頭に入れながら練習を進めてください。

① ペンの運びをリズムカルに

ひらがなはすべて、点と曲線で構成されています。女性的、優雅という言葉も連想されますが、決して弱弱いというのではなく、一本一本の線には、いきいきとした弾力性があります。この弾力性を生み出すには、ペンの運筆に遅速をつけ、ペンに圧力を加える

べきところは加え、力を抜くところは抜くことを、つねに心がける必要があります。

② すべての点と線を連絡よく


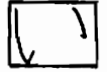




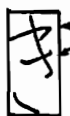


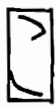
すべての点や線は、字を形よく構成するという目的をもつて、次の点や線に連絡しています。たとえば、「お」について見てみましょう。第一筆目はやや右上がりかたに書かれています。これは第二筆目にスムーズに連絡するためであり、第二筆目の終りは第三筆目の点に向かう形で終わっています。

練習するときに、この、いわば「目に見えない連絡線」をいつも念頭に置くことが、いきいきとした字を書くために肝要なことです。



③ 外形を考える

ひらがなのおおよその形（外形）は、つぎの六つに大別することができます。字をこの図形の中におさめるつもりで書くと、それぞれの点や線の位置と方向をはっきりとつかむことができます。

あ					右上がりに	
い					内回におん曲して 斜めにひき合う	
う					あける	
え					右上がりにして、 右の間に注意して書き く	
お					右上がりに短く、 内は短くならない こと	
か					肩して線を引く	
き					肩し、 2番は右よ りに	
く					中ほどの折れは角 ばらないように	
け					内回によくらみをつける	
こ					2回と短く、 を短くたまたまある	

カタカナ

カタカナは外来語や学術用語、電報文、動物名、植物名など日常生活ではなくてはならない文字です。

カタカナの字源を見てもおわかりのように、カタカナは、ほとんどが楷書体の漢字の一部から作られています。したがって、楷書体のもっている直線的な美しさが一つの特徴です。

書きかたの全体的なコツとしては、横画線は、いつもやや右肩上がりに書くことと、左下方に引く線は、ほぼ45°くらいの角度を持たせることです。

横画について

カタカナや漢字は、横・縦・斜の三つの画で組み立てられて一つの文字が構成されています。ところが、「書・筆・車・言」「エ・テ・ニ……」などのように三つの画の中でも、とくに横の画が多く使われて構成されている文字は、かなり多いのです。

横画を書いて紙の裏から方向を変えて見ると縦画になります。横画の書きかたがわかれば縦画の方向を変えるだけで書けるわけです。練習するのに次のことを注意して書いてください。

① 運筆の方向に注意する
ほとんどの横画は右上がりに運筆します。書きかたには、上にそらせて書く(仰勢)、下にそらせて書く(覆勢)練習も必要です。

② 長さに注意する

「エ・テ・ニ」などは上の横画と下の横画の長さを考えて書いてください。

③ 横画と横画の間に注意する

「ヨ」のように横画が多い文字の三つの横画は、横画の間をそろえて書きます。これを横分間法といいます。

④ 横画の基本として、始筆の角度は45°にして書きます。

⑤ 左記のように、書きまちがえやすい字があるので、注意が必要です。

ン	マ	メ	テ
ソ	ヤ	ナ	ラ
ソ	ス	シ	コ
リ	ヌ	ツ	ユ
ケ	ク	エ	ア
ク	ワ	ユ	マ

ア				長く		中心まではねる 左はらいの角度は約45° 縦画は中ほどから長さに注意する	
イ				斜筆 しっかり とめる		第1画の左はらいの角度は約45° 縦画は中ほどから長さに注意し終筆はしっかり止める	
ウ				少し 内側に		中心に書く そり気味に全体を下すほりに書く	
エ						やや上にそろし 中心の長さに注意 下にそろし気味	
オ				長く ならないように		第1画と2画は直角	
カ						そり気味に平行させる	
キ						右上がりに平行 長さに注意してそれらと直角に交わる	
ク						この横画はあまり長くならないように	
ケ						左はらいの角度は立ちすぎないように	
コ						折れの角度に注意してすばみ気味に引き下ろす 終筆は少し右に出す	